

梶山女学園大学教育改革 2020 報告

梶山女学園大学では、本学の個性や特色を生かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、毎年「梶山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでおります。

2020 年度は「梶山女学園大学中長期計画 2020 年 4 月～2030 年 3 月」第Ⅰ期のスタート年度でしたが、新型コロナウイルス感染症への対応という、これまで経験したことがない課題に直面しました。そのような中で、学びの継続及びさらなる教育改革を推進すべく行った、2020 年度の主な取組の成果を以下に報告いたします。

教育内容の充実

本学における自己点検・評価の結果の妥当性及び客観性を高め、内部質保証の有効性に関して第三者の立場から評価を行うことを目的とした、外部評価委員会に関する規準を制定し、2021 年度からの実施に向けた準備を開始しました。

学修支援

新型コロナウイルス感染症に伴う学修支援として、以下の取り組みを行いました。

- ・遠隔授業対策チームによる特設ページの開設、授業録画補助
- ・遠隔授業受講のための Wi-Fi ルータ無償貸与、ノート PC 貸与
- ・大学図書館図書の郵送による貸出実施

学生生活

高等教育の無償化に伴う修学支援制度や新型コロナ感染症対策助成金による支援など、新たな経済的支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う修学支援金として、1 人あたり一律 5 万円を支給しました。また、大学図書館入口にサーマルカメラ、食堂には飛沫防止のパーテーションを設置しました。

キャリア支援

Web 面接室を設置し、オンラインによるキャリア支援を実施しました。ガイダンス等については、アンケートを実施し、満足度を調査し、結果を見ながら改善を図りました。

学生確保

学力の 3 要素を評価する入試方法や、高大接続としての入学前教育を実施し、それらの実施結果を踏まえて次年度への課題等について検討を進めました。

社会連携

コロナ禍により、多くの連携事業が縮小傾向にあったため、当初計画どおりの実施は困難でしたが、新たな連携についてのヒアリングや情報収集を行いました。

マネジメント

各種センター業務についての検証を進め、特に社会連携センターについての講座の見直しを行いました。